

報道機関 各位

資料提供 平成29年9月3日
総務部 総合防災課
担当者 危機管理・防災支援班 渡部 博樹
TEL 018-860-4563
美の国あきたネット掲載 (有)・無

北朝鮮付近を震源とする地震波の観測に伴う対応について

政府は、北朝鮮において、核実験が行われたと判断しており、関係省庁からも情報が提供されています。

一般的に地下核実験の場合は、大気中に放射性物質が放出されることは想定されませんが、本県では、2～4のとおりに対応することとしましたのでお知らせします。

1 関係省庁からの主な情報

○14時06分（消防庁）

平成29年9月3日（日）12時31分頃、気象庁が北朝鮮付近を震源とする地震波を観測した。

気象庁によれば、自然地震ではない可能性がある。

- ・発生時刻 平成29年9月3日 12時29分57秒頃
- ・地震の規模 北緯41.3度 東経129.2度
深さ0km 規模：マグニチュード6.1

消防庁の対応

- ・消防庁に設置中の消防庁第1次情報連絡室において情報収集

2 県の体制

当面は、災害連絡室（室長：総合防災課長）の体制で対応する。

3 空間放射線量等のモニタリング強化

(1) モニタリングポストによる空間放射線量調査

原子力規制庁からの委託により、県内 6 か所のモニタリングポストにおいて実施している空間放射線量の連続測定を、引き続き実施します。

※県内におけるモニタリングポストの設置場所

秋田県健康環境センター及び 5 地域振興局

(鹿角、山本、由利、仙北、雄勝)

(2) ゲルマニウム半導体検出器による核種分析

原子力規制庁からの委託により、秋田県健康環境センターにおいて実施している核種分析について、同庁からの指示により、次のとおり強化します。

検 体	採 取 期 間		測 定 時 間
降下物	変更前	・毎月 [1 か月間]	20 時間
	変更後	・毎日 [15 時から翌日 15 時までの 24 時間] (※初回分は、本日 14 時 30 分から明日 15 時までの 24 時間 30 分)	6 時間
大気 浮遊じん	変更前	・四半期 [3 か月間]	20 時間
	変更後	・毎日 [9 時から翌日 9 時までの 24 時間] (※初回分は、本日 14 時 30 分から明日 9 時までの 18 時間 30 分)	6 時間

※「降下物」とは、降雨や降雪に含まれるちりをいう。

※「大気浮遊じん」とは、大気中に浮遊している粉じんをいう。

4 調査結果の公表

(1) モニタリングポストによる空間放射線量調査

本県を含む全国のデータは自動的に集約され、原子力規制庁のウェブサイトで公表されています。

※原子力規制庁ウェブサイトの URL <http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja>

全国及び福島県の空間線量測定結果 → 放射線量測定マップの秋田県を選択

※現在（15時00分現在）の数値は通常レベルです。

(2) ゲルマニウム半導体検出器による核種分析

本日から毎日採取する降下物及び大気浮遊じんについては、結果が判明次第速やかに美の国あきたネットに掲載します。